



[メインスローガン]

全組合員の総力を結集して組織拡大を実現し、 働く者にとって安心・安全な社会と職場を つくるために奮闘しよう!



2011年
10月15日
No. 904

全国一般石川地方
労働組合 教宣部
金沢市駅西本町3-13-5
Tel. 076 (262) 0724
発行人 久田友恒

九月二十五日、内灘文化会館にて、地本第八十三回定期大会が開催されました。十一年度は、3・11の未曾有の大震災と津波、福島原発事故により、日本経済・社会が危機に直面。労働運動全体が厳しい状況下で、地本職場もまた困難な闘いを強いられています。今大会は地本結成五〇年の節目。地本運動の前進のために熱意ある討論が交わされました。以下、概略を報告します。

《報告》地本第83回定期大会

(2011年9月25日 内灘文化会館)

大会議長は三輪代議員(林ベニヤ舞鶴)、真袋代議員(東部自校)が務めました。久田委員長(別掲)の後、全国一般評議会・大浦議長をはじめとする多くの来賓の方にご挨拶を頂きました。祝電メッセージ披露、資格審査、大会成立宣言の後、活動報告、総括提案、決算報告、会計監査報告、運動方針案の提案が行なわれました。

運動方針案の質疑討論
困難な一年の闘いから学んだこと



竹村代議員
(青年女性部
北陸冷蔵)

地本青年女性部の常任委員をして、多くの職場の仲間が参加しているのと、とても勉強になる。特に闘争中の門前サンケンのことを知った。自分の職場である北陸冷蔵の仲間からカンパを頂き、自ら門前工場まで足を運んだことも。署名



石田代議員
(天狗産業)

運動もした。今回の大会で仲間の話を聞くだけでも大きな意味があると思う。

役員歴10年者表彰

室田 七徳 東部自動車学校分会

これからも
よろしくお願いします。



竹内代議員
(北中自校)

昨年七月の不当労働行為事件は、今年六月に勝利的和解を勝ちとった。しかし、会社は「不当労働行為があったと思っていない」と和解協定を無視。こうしたなか春闘・一時金に取組む、パート社員の賃上げや嘱託社員の手当支給を勝ちとったが、課題も残った。会社による天狗支部分断を許さず、仲間と論議して団結強化したい。



大龍代議員
(羽咋自校)

昨年の今日、会社から解雇攻撃を受け、闘争により撤回させ、この九月二十日付で民事再生の認可が下りた。しかし、賃下げを受けており、今後の是正・春闘・一時金を含め、再び皆さんとともに闘えるよう頑張る。

職場の中から 組合組織強化を

会社による輪島自校切り離し攻撃との闘いに多くのご支援を頂いた。しかし昨年十二月、輪島自校の仲間が雇用不安から新しい経営者である「まちづくり輪島」の採用試験を受け、北中自校を退職。輪島の仲間を支えきれなかった。非常に悔しい。今後、会社の攻撃には立ち向かいたい。

石川ユニオン書記長
従来、労働相談で石川ユニオンに加入しても支部の活動から切れてしまうことが多く、この一年、定例交流会で働きかけを強めてきた。組合がなければ正当な理由なくクビにされたり、労働条件を切り下げられる事件が横行していると感じる。泣き寝入りではなく闘

▼羽咋自校の解雇撤回と再建の闘い、門前サンケンの工場閉鎖撤回闘争、さらに多くの職場闘争、実に困難な一年だった。そのただなかで、東日本大震災と福島原発事故、実に衝撃的だった。亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表したい。



地本は、被災者支援のため、会社員に公共性を認めさせる取り組みを基礎に、自治労ボランティアとして仲間を現地に派遣した。工場閉鎖や賃金カットのなか、同じ労働者として支援に取り組んだ意義を確認したい。想像力をはたかせ、自分自身の意識を風化させてはならない。

▼野田新政権発足後、大きな力が働いていると感じる。鉢呂前経済産業大臣の「死の町」発言をめぐる辞任劇は異常だ。「死の町」にしたのは誰かを誰も問わない。「脱原発だから辞任に追い込まれた

一人一人が組合をつくる決意で、 全国一般運動の前進を勝ちとろう!

執行委員長 久田 友恒

合に相談しないと答えた仲間も少なくない。その理由は、「会社が決めたことだから仕方ない」、「相談して何がかわるのか」、「大事になるのが嫌」など。私たち組合員一人ひとりが、こうした意識を変えなければ組織

拡大はできないし、さらに呼びかけるためには、本当に自分が組合員であって良かったと言えるのかにかかっている。



大会議長の仲間。おつかれさまでした

（裏面へ続く）

(表面より続き)
う仲間を迎え、組織拡大・強化のために私たち一人一人がオルガナイザーになろう。



高澤代議員
(天狗支部)

コスモスユニオン分会結成後の職場の闘い。コスモス分会は、従来の天狗分会と賃金差があり、意識も違う。一致団結した闘いをつくってきた。私は、自分の職場の非正規の仲間が全員コスモス分会に加入したことで一安心し、その後、職場の執行委員に任せきりに

争議職場の仲間からの報告

門前サンケン／下野代議員



一年三ヶ月、多くの仲間の支援を頂き闘ってきた。しかし会社は、突然五月連休明けに異動を「従わなければ解雇もあり得る」と通告してきた。悔しいが異議を留めて応じ、闘争を継続している。異動の直後、「会社がバックについている」として組合を脱退表明した者が現れた。会社の不当労働行為は明らか。裁判と労働委員会まで追及していく。町野・志賀の両工場に分かれ職場の組合活動に苦勞するが、団結し頑張り。

稲生代議員
会社は「経費削減」と言っ

してしまった。しかし、会社によるチェックオフの嫌がらせを機に、不安にかられた組合員に対して、仲間の協力を得て組合の大切さを訴え、オルグできた。今後も天狗支部の組織拡大に頑張り。



奥野代議員
(林ベニヤ舞鶴)

サンケンも、テクノも、その他の職場も、僕たちの要求は決して高望みではない。大企業が有利な制度で、僕らの生活を守る労働が商品になったばかりに、普

て門前工場を閉鎖強行したのに、今もエアコンを入れ、コンプレッサーでドライエアを入れてる。山崎代議員
自宅から町野工場まで四十キロ。移動だけで毎日二時間。勤務明けは眠くて、何度も運転中に路肩に突っ込みガタガタ揺られて慌ててハンドルを握り、という異常な生活。

坂本代議員
子どもの送り迎えが出来なくなり、妻に負担が。番が違えば仲間と顔を合わせない。なんとか意思疎通を少しでもしなくては。砂山代議員
私は四役のなかで一人だけ志賀工場勤務で、とても苦勞している。門前工場再開できるように頑張りたい。

引地孝子代議員
朝三時に起き、バスに揺られて一時間。以前に応援で通

通の要求がすごく大変。林ベニヤでは、今春闘で時間外労働超過問題に取り組み、要求づくりの職場集会やアンケートの取り組みを通じて仲間の意思統一をはかり、団交で本社の幹部に人員補充を約束させた。これが職場の力になった。

総力をあげて組織拡大を!



甲谷代議員
(城東自校)

様々な職場闘争や平和の取り組みを聞き、本当に素

った時と違っただけ、今はこの生活が会社を辞めるまでずっと続くこと。いつか門前工場に戻るため、日々、自分に力を入れたい。上岡傍聴
門前工場のとくと同じような組合活動はまったくできない。これが会社の思惑かなとずっと考えている。門前工場に戻れるよう、もっと組合を強化したい。

引地千鶴傍聴
土日が休日ではなく、子どもの行事と合わず悩む。人が眠っている時間に起き出すのは異常だ。体調も悪く、日々やっつとで家族の会話も少ない。他の組合員の悩みも聞いて頑張り。

大同テクノ／花澤代議員
裁判は残念ながら負けましたが、控訴する。二つ目標がある。一同一労働

晴らしい。中小企業で働く多くの未組織労働者を組織するために、全国一般をこねるまで以上に皆で支え作っていきたい。そのためには、先日私の分会の集会で、組織拡大のための資金徴収について様々な意見が出た。わずか百円と思う人もいるが、一円でも上がると苦しむ人もいる。職場の意見を一分会の問題にせず、皆の問題として考えてほしい。

執行部からの答弁

本田副執行委員長

「一円でも上げるのは大変だ」との認識だ。しかし、そうした組合員の生活を変

えるため、前に向けて全国一般を組織強化することが課題。各職場大会などでは非とも皆で論議して頂き、全員一致で確認を。

久田執行委員長

地本の組織拡大こそ根本解決の道。それができなかつたことが今日の事態を招いた。専従者も努力してもらい、私も頑張り決意だ。組合員一人一人がオルガナイザー。どうかご理解をお願いしたい。

原水禁ヒロシマ

二木傍聴／大同テクノ

連合の平和大会で「ノーモア・ア・ヒロシマ」「ノーモア・ナガサキ」「ノーモア・ヒバクシャ」は聞かれたが、「ノーモア・フクシマ」を語ったのは外国の発言者。三・一一後の大会なのに、寂しさを感じた。毒ガス製造の島も見学。現在の原発に対する隠蔽は、毒ガスの隠蔽と同じだ。脱原発も、ヒロシマ・ナガサキと同じように大きな運動にしたい。

震災復興支援活動

桶谷代議員／北陸冷蔵

震災の二ヶ月後、岩手県宮古市での活動に一週間参加した。印象に残っているのは、ユニポで家を壊しているところ、持ち主の父親に子供が「お父さん、津波が来たらどこへ逃げたらいいの?」と聞いた。お父さんは「てんでに(バラバラで)」と。親兄弟だるうが、まず自分の命を助けなさいと。それほど津波は恐ろしいんだと思った。

9・19さよなら原発5万人集会

佐野代議員／北中自校

明治公園に到着するとお巡りさんや護送車が両脇にいつぱい。集

今後の職場大会の日程

(10/14日現在報告がある職場のみ)

支部、分会、単組	月日	時間	場所
城東自校分会	10月15日(土)	13:30	職場
大同テクノ分会	10月15日(土)	16:00	加賀労働会館
林ベニヤ七尾分会	10月16日(日)	9:00	七尾労働会館
市場冷蔵分会	10月18日(火)	10:30	職場
石川ユニオン支部	10月20日(木)	18:30	地本会館3階
東部自校分会	10月22日(土)	13:30	職場
北鉄自校分会	10月22日(土)	13:30	蓮花寺会館
魚市場冷蔵分会	10月22日(土)	19:00	職場(第一冷蔵)
林ベニヤ舞鶴分会	10月23日(日)	9:00	舞鶴労働者福祉センター
加南加賀自校分会	10月23日(日)	9:30	職場(加賀校)
現永昌堂分会	10月25日(火)	16:30	
天狗中田産業支部	10月27日(木)	14:30	西南部公民館
能登中央自校分会	10月28日(金)	14:30	職場
北國製紙分会	11月13日(日)	18:00	地本会館3階
門前サンケン支部	11月20日(日)	9:00	職場

*日程が決まり次第、書記局まで連絡をお願いします

職場の闘いと団結こそが原点

熱心な討論にふまえて、運動方針案、予算案、組織拡大のための資金徴収、秋季年末闘争方針案、統制(除名)処分も可決されました。「職場闘争勝利」「組織強化拡大」「反戦平和の闘い」の特別決議、大会スローガンの大会宣言採択の後、久田委員長が「団結ガンバロー」で大会は締めくくられました。

二〇一二年、地本結成五十一周年目の前進の年にすべく、一丸となって組織拡大に奮闘しよう!

職場の中から年末一時金、春闘、脱原発、反戦平和の取り組みをつくり、企業・業種をこえ地域の仲間と連帯して闘おう!



福嶋代議員／天狗支部

寒かったのは、福嶋から来た発言者が「東北の静かな鬼となる」と言ったこと。怒り、恨み、相当なものがある。目の前にある物を食べるか、食べないか。外に洗濯物を干すか、干さないか。子どもにマスクを着けさせるか、着けさせないか。取り組みを通じて、なんとしても脱原発を完遂したいと決意した。